

議員全員協議会会議録

1 開会日	平成22年1月15日 午後 1時30分 開会 午後 3時30分 閉会
2 場 所	議員控室
3 出席議員	山田喜一 山口陽一 清水弘子 三澤龍夫 鈴木京子 百瀬恵美子 奥津勝子 浅輪いつ子 竹内恵美子 坂田よう子 柴崎 茂 土橋秀雄 渡辺順子
4 説明員	町長 三好正則 副町長 吉川重雄 鈴木総務課長 相田政策課長 齋藤主査
5 職務のため 出席した職員	局長 穂坂 優 書記 岩田隆吉
6 協議等の事項	(1) 吉田茂と大磯の歴史的魅力を考えるシンポジウムについて (2) 各町行事の対応について (3) その他
7 その他	

(1) 町長あいさつ

あいさつの中で「消防職員採用試験」、「左義長」、「第 56 回大磯一周駅伝」、「町長と語り合う集い」、「学校法人同志社創立 135 周年記念事業講演会として大磯新島講座」、「旧吉田茂邸再建基金の活動状況」、「吉田茂と大磯の歴史的魅力を考えるシンポジウム」、「新型インフルエンザの予防接種」、「大磯・真鶴間の相模湾早春クルーズ」、「政務調査費の返還請求の訴状提出」、「職員派遣研修（自治大学校、民間企業）」に関する最近の町の動きの話があった。

◎主な質疑

問. 自治大学校への派遣職員は。今後の職員派遣研修は。

答. 主任主事クラスの職員 1 名を派遣。現在でも職員研修に行かせる予算措置を講じている。

問. 派遣職員の報告等の機会は。

答. 行政幹部会議で報告をした。また若手研究グループの講師として受講結果を広めていきたい。

問. クルーズの町の予算措置は。海の駅の町事業への位置づけは。

答. クルーズは県が国の交付金により行う事業。クルーズへの町の支出はない。海の駅づくりへの町の支出は今のところ考えていない。

問. 春には大磯港内に食堂を整備という内容は。

答. みなとまちづくり協議会から出てきた話。漁業協同組合の組合長さんが管理事務所の前あたりの県の敷地を借りて簡易施設の食堂をやりたいと県に申し出ている。県のハード整備とは別。

問. 1 月 23 日の同志社の講演会の講師は。また墓前祭は行うのか。

答. 講師は同志社の理事長。講演会の前に碑前祭を行う。

問. 国府新宿のクリエイトの開発に関して議会への説明はあるのか。

答. 調べて必要があれば議会に報告をする。また道路網等についても検討し、説明を地元の方にもするような形を思っている。

問. 津波洪水ハザードマップは何時ごろ配布されるのか。

答. 3 月末ごろに全戸配布を予定している。

問. 国際学園のほうから町に申し入れがあったというふうに聞いているが、その内容は。

答. 1 月 8 日に国際学園の企画担当の増田さん他 2 名が来庁し、公社との買換えの議決を早くいただけるように努力してください。そうしないと町へ支払う予定の 1 億 8 千万円を払えないで困ってしまうからというお話しがあった。文書等はない。具体的な進展は

ない。

問. 万台こゆるぎの森を使えるのはいつからか。

答. グラウンドの工事が終わり次第開放してもらおうようお願いしてある。

(2) 各種委員会等の行事報告・予定について

「各委員会等の行事報告・行事予定」の配布により説明は省略。

なお、予定に1月23日の大磯新島講座と2月4日の総務建設常任委員会協議会を追加した。また、次回からの予定表作成の際には広報等の確認を行うことにした。

(3) 協議事項の結果

ア 吉田茂と大磯の歴史的魅力を考えるシンポジウムについて

2月5日に東京のグランドホテル赤坂で開催するシンポジウムへの参加は個々の議員の判断によることにした。

また、2月5日の議会運営委員会の開始時間を9時30分から30分繰り上げて、9時からの開催に変更した。

◎主な意見

- ・真剣に基金を集める方策を考えたほうがよい。
- ・基金の募金を議長、副議長が中心になって周辺の議会に働きかける。
- ・再建に向けた特別委員会か小委員会を議会に作る時に必要になっている。
- ・議員提案の基金である。バスを用意して乗れない人が出た場合、議員はバスで行って町民は電車で行くというのは通らない。
- ・バスは必要である。いっぱいになったら議員が降りればよい。

イ 各町行事の対応について

出初式、成人式などの町の公式な行事は、出来る限り出席をすることにした。

(4) 報告事項

ア 議員年金方針(案)・・・山田議長報告

全国町村議会議長会が、平成21年12月17日に「地方議会議員年金制度の長期安定化に関する要望」を民主党と総務省に要請した。

イ 湘南クルーズに参加して・・・山田議長報告

昨年12月22日に議会からは議長、副議長、柴崎委員長の3人、観光協会、商工会、ガイドボランティア、県の観光推進室の十数名

が乗船して真鶴町までの往復のクルーズをした。県の事業で国のふるさと雇用再生特別基金を活用し3カ年で1,500万円の予算。真鶴まで1時間30分。1月13日に反省会を行った。また、2月27日・28日に大磯と真鶴をつなぐ30人規模のクルーズを計画している。

ウ 視察研修に参加して・・・百瀬議員報告

平成21年12月14日と15日に4人（百瀬議員、奥津議員、坂田議員、竹内議員）で青森県南部町の名川チェリーセンター（直売所）、南部町役場（達者村活き活きプロジェクト）、八戸市の八食センター（約60店舗が並ぶ大型市場）の視察を行った。また、竹内議員、奥津議員、坂田議員から補足の報告があった。

エ 委員会報告

（ア）12月24日福祉文教常任委員会・・・奥津委員長報告

使用料に関する7議案について審議し、保険福祉課所管の議案第62号・63号・64号、スポーツ健康課所管の議案第68号は賛成多数で可決、生涯学習課所管の議案第65号・66号・67号は賛成少数で否決した。

（イ）1月14日総務建設常任委員会協議会・・・柴崎委員長報告

3月定例会の予定議案である大磯町公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の制定など5件についての説明を受けた。

オ 事務局から報告

「一般質問と総括質疑の通告」、「議員研修会の開催」、「政務調査費に関する裁判」、「前回の全協の会議録の配布」、「平成21年版議会活動状況の配布」、「3月定例会資料の配布」、「源泉徴収票の配布」、「次回の全協2月16日の開催前の午後1時から1時30分間に国府分署の新車両のお披露目を庁舎駐車場で実施）」についての報告があった。